

三菱電機 汎用 シーケンサ

CC-Link IEフィールドネットワーク防水タイプ
リモートIO-LinkユニットFBリファレンス
(MELSEC iQ-R対応)

目次

第1章	ファンクションブロック(FB)一覧	2
第2章	CC-Link IEフィールドネットワーク防水タイプリモートIO-LinkユニットFB	4
2.1	M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R	4
2.2	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R	8
2.3	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData_R	11
2.4	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet_R	14
2.5	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData_R	18
2.6	M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData_R	22
2.7	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet_R	25
2.8	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet_R	29
2.9	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData_R	32
2.10	M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R	36
付録		40
付1	入出力切替え指令	40
付2	モード切替え指令	41
付3	イベント削除設定	42
付4	上下バイトデータ交換設定	43
付5	プロセスデータサイズ設定	44
付6	データストレージ設定	45
	データストレージ有効設定	45
	アップロード設定	45
	ダウンロード設定	45
	データストレージ消去設定	45
付7	デバイス検証設定	46
	ベンダID	46
	デバイスID	46
	シリアルナンバー	46
付8	RJ71EN71, RnENCPUをE+CCIEFに設定した場合のFB変更手順	47
命令索引		53
改訂履歴		55
商標		56

1 ファンクションブロック(FB)一覧

CC-Link IEフィールドネットワークIO-LinkユニットのFBは、下記のとおりです。

名称 ^{*1}	内容
M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R	各チャンネルのプロセスデータサイズおよび動作を設定します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R	指定チャンネルのイベントデータを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData_R	NZ2GF12A-60IOLH8のゲートウェイ識別データを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet_R	NZ2GF12A-60IOLH8のイニシャル動作設定を読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData_R	指定チャンネルのISDUデータを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData_R	指定チャンネルのデータストレージを読み出します。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet_R	各チャンネルにデータストレージ設定を書き込みます。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet_R	NZ2GF12A-60IOLH8にイニシャル動作設定を書き込みます。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData_R	指定チャンネルにISDUデータを書き込みます。
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R	指定チャンネルのデバイス検証設定を実施します。

*1 FB名称の末尾には"_00A"などのFBのバージョン情報が表示されますが、本リファレンスでは記載しません。

注意事項

- 本FBはGX Works3用のFBです。
- 本FBは、エラー処理を含んでいません。エラー処理については、システムや要求動作に合わせて別途作成してください。
- 割込みプログラム内では、本FBを使用しないでください。
- 本FBでは、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。
- 本FBに関係ない異常はo_uErrId(エラーコード)に格納されません。
- 本FBではインデックスレジスタ(Z6~Z9)を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。
- CPUパラメータのメモリ/デバイス設定を、本FBを使用するために必要な容量となるように変更してください。変更しない場合、GX Works3にてエラーが発生する場合があります。

2 CC-Link IEフィールドネットワーク防水タイプリモートIO-LinkユニットFB

2.1 M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R

概要

項目	内容
機能概要	各チャンネルのプロセスデータサイズおよび動作を設定します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wIn_OutSwitch</div><div>(5) — W: i_wModeSwitch</div><div>(6) — W: i_wEventsClear</div><div>(7) — W: i_wDataSwap</div><div>(8) — W: i_wProcDataSize</div><div><div>o_bENO: B</div><div>o_bOK: B</div><div>o_bErr: B</div><div>o_uErrId: UW</div><div>o_wRYOutputs: W</div><div>o_bUnitError: B</div><div>o_bUnitReady: B</div></div><div><div>(9)</div><div>(10)</div><div>(11)</div><div>(12)</div><div>(13)</div><div>(14)</div><div>(15)</div></div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

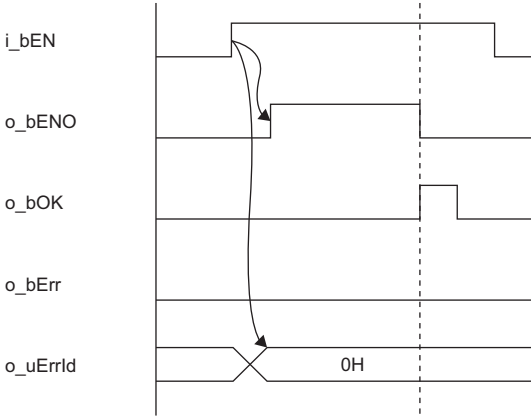
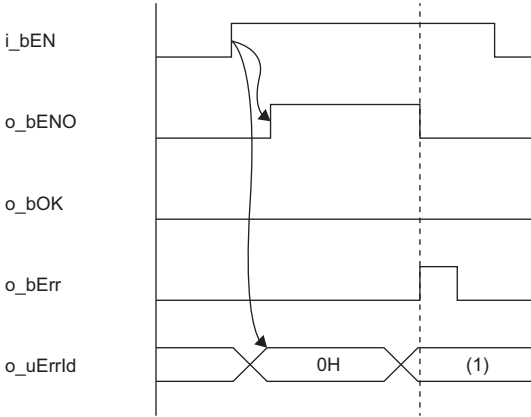
No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wIn_OutSwitch	入出力切替え指令	ワード[符号付き]	0000H~FFFFH	各チャンネルのQ/CQの入力/出力を指定します。ただし、対応するチャンネルのCQがIO-Linkモードで動作している場合、本設定は反映されません。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 ☞ 40ページ 入出力切替え指令
(5)	i_wModeSwitch	モード切替え指令	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位バイトに各チャンネルのモードを指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 ☞ 41ページ モード切替え指令
(6)	i_wEventsClear	イベント削除設定	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位バイトに各チャンネルのイベント削除を指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 ☞ 42ページ イベント削除設定
(7)	i_wDataSwap	上下バイトデータ交換設定	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位バイトに各チャンネルの上下バイトデータ交換機能の有効/無効を指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 ☞ 43ページ 上下バイトデータ交換設定

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(8)	i_wProcDataSize	プロセスデータサイズ設定	ワード[符号付き]	—	プロセスデータサイズが格納されているエリアの先頭デバイスを指定します。格納エリアは(先頭デバイス)+0~+7ワードとなります。各チャンネルのプロセスデータサイズの有効範囲は0~16です。0以下に設定されていれば0, 16以上に設定されていれば16となります。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 ☞ 44ページ プロセスデータサイズ設定

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(9)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(10)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(12)	o_uErrld	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(13)	o_wRYOutputs	リモート出力値	ワード[符号付き]	リモート出力のためのデータが2ワード分格納されます。格納されたデータを下記に設定してください。 (出力した先頭デバイス)+0: チャンネルn入出力切替え指令 (RY10~RY1F) (出力した先頭デバイス)+1: チャンネルnモード切替え指令 (RY30~RY37), チャンネルnイベント削除(RY38~RY3F)	0
(14)	o_bUnitError	エラー状態フラグ	ビット	ユニット状態エリアのエラー状態フラグを示します。 ON: 中度または重度エラー発生中 OFF: エラーなし	OFF
(15)	o_bUnitReady	リモートREADY状態	ビット	ユニット状態エリアのリモートREADYを示します。 ON: リモートREADYがON OFF: リモートREADYがOFF	OFF

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	520ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、各チャンネルのプロセステータサイズおよび動作を設定します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム、FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると、i_bEN(実行指令)がOFFされず、正常な動作ができません。使用する場合は、i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。 • 本FBでは、入出力切替え指令、モード切替え指令、イベント削除設定をIO-Linkユニットのリモート出力に書き込むフォーマットに変換し、出力します。出力した値をIO-Linkユニットのリモート出力に書き込むプログラムを別途作成してください。 • 本FBでは、正常完了後にイニシャル処理完了フラグまたは動作条件設定要求フラグをONする処理を含んでいません。イニシャル処理完了フラグまたは動作条件設定要求フラグをONするプログラムを別途作成してください。 • イニシャル処理完了フラグ、または動作条件設定要求フラグは、本FB実行完了から500ms経過後にONしてください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 【】MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)

2.2 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R

概要

項目	内容
機能概要	指定チャンネルのイベントデータを読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wTarget_CH</div><div>o_bENO: B (5)</div><div>o_bOK: B (6)</div><div>o_bErr: B (7)</div><div>o_uErrId: UW (8)</div><div>o_wEventDisc: W (9)</div><div>o_wEventCode: W (10)</div></div></div>

使用ラベル

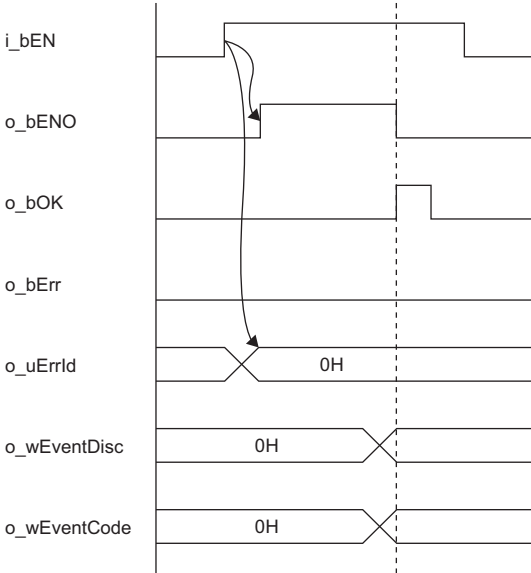
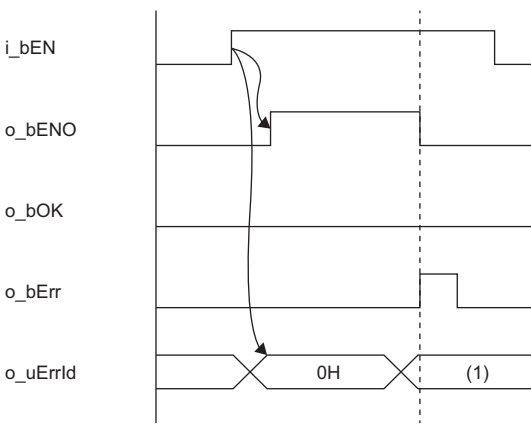
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wTarget_CH	対象チャンネル	ワード[符号付き]	1~8	イベントデータを読み出すチャンネルを指定します。0以下に設定されていればチャンネル1, 9以上に設定されていればチャンネル8となります。


■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(9)	o_wEventDisc	イベント識別子	ワード[符号付き]	読み出したイベント識別子を格納します。	0
(10)	o_wEventCode	イベントコード	ワード[符号付き]	読み出したイベントコードを格納します。イベントコードの内容は, 接続しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	335ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したチャンネルのイベントデータを読み出します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると, i_bEN(実行指令)がOFFされず, 正常な動作ができません。使用する場合は, i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.3 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData_R

2

概要

項目	内容
機能概要	NZ2GF12A-60IOLH8のゲートウェイ識別データを読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wldtIndex</div><div>o_bENO: B (5)</div><div>o_bOK: B (6)</div><div>o_bErr: B (7)</div><div>o_uErrId: UW (8)</div><div>o_wldtData: W (9)</div></div></div>

使用ラベル

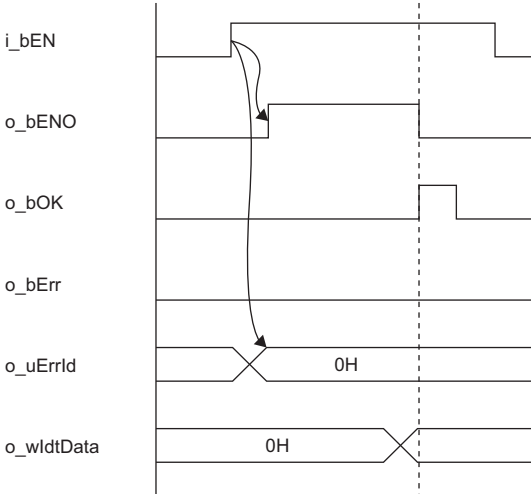
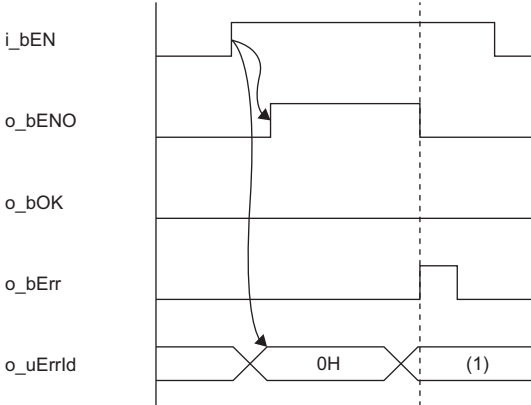
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wldtIndex	ゲートウェイ識別データ項目	ワード[符号付き]	10H~14H	読み出すゲートウェイ識別データの項目を指定します。 10H: 製造者名 11H: 製造者テキスト 12H: 製品名 13H: 製品ID 14H: 製品テキスト

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(9)	o_wldtData	ゲートウェイ識別データ	ワード[符号付き]	ゲートウェイ識別データの値を格納するデバイスの先頭番号を指定します。 ゲートウェイ識別データが格納されるエリアのサイズは, 読み出したゲートウェイ識別データの項目によります。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	334ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したIO-Linkユニットのゲートウェイ識別データを読み出します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると, i_bEN(実行指令)がOFFされず, 正常な動作ができません。使用する場合は, i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
0101H	ゲートウェイ識別データ項目が10H~14H以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 ■ MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.4 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet_R

概要

項目	内容
機能概要	NZ2GF12A-60IOLH8のイニシャル動作設定を読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdInitOprSet_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>o_bENO: B (4)</div><div>o_bOK: B (5)</div><div>o_bErr: B (6)</div><div>o_uErrId: UW (7)</div><div>o_bInitSetting: B (8)</div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

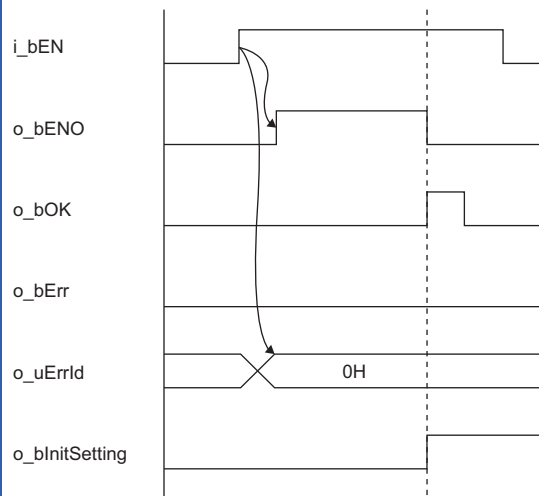
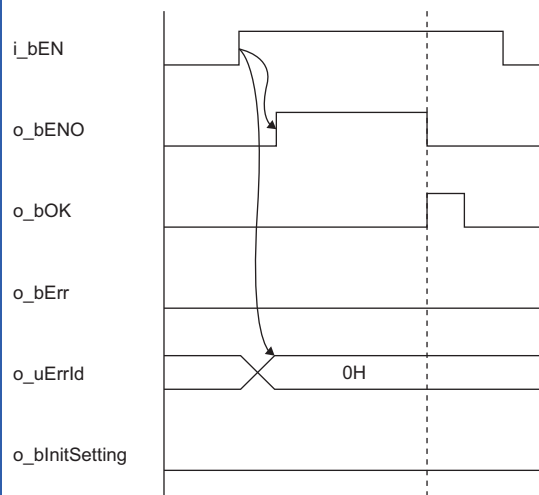
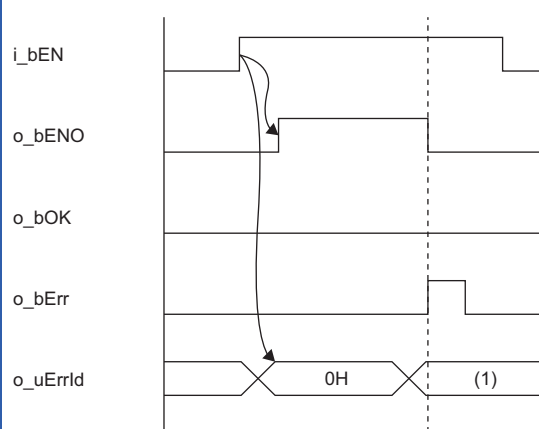
No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(4)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(5)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(6)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(8)	o_bInitSetting	イニシャル動作設定	ビット	ON: イニシャル動作なし OFF: イニシャル動作あり	OFF

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	336ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したIO-Linkユニットのイニシャル動作設定を読み出します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047)、各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7)、およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	

項目	内容
入出力信号の動き	<p>・ 正常完了(イニシャル動作設定あり)の場合</p> 
	<p>・ 正常完了(イニシャル動作設定なし)の場合</p> 
	<p>・ 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>
注意事項	<p>1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると, i_bEN(実行指令)がOFFされず, 正常な動作ができません。使用する場合は, i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。</p>

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 【】MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)

2.5 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData_R

概要

項目	内容
機能概要	指定チャンネルのISDUデータを読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wTarget_CH</div><div>(5) — W: i_wIndex</div><div>(6) — W: i_wSubIndex</div><div>(7) — W: i_wISDUDataLen</div><div><div>o_bENO: B</div><div>o_bOK: B</div><div>o_bErr: B</div><div>o_uErrId: UW</div><div>o_wISDUData: W</div></div><div><div>(8)</div><div>(9)</div><div>(10)</div><div>(11)</div><div>(12)</div></div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wTarget_CH	対象チャンネル	ワード[符号付き]	1~8	ISDUデータを読み出すチャンネルを指定します。0以下に設定されていればチャンネル1, 9以上に設定されていればチャンネル8となります。
(5)	i_wIndex	インデックス	ワード[符号付き]	0000H~FFFFH	読み出すISDUデータのインデックス値を指定します。 ^{*3}
(6)	i_wSubIndex	サブインデックス	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位バイトに読み出すISDUデータのサブインデックス値を指定します。上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。 ^{*3}
(7)	i_wISDUDataLen	ISDUデータ長	ワード[符号付き]	読み出すISDUデータによる ^{*1}	読み出すISDUデータの長さをバイト単位で指定してください。 ^{*2}

*1 詳細については、接続しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。

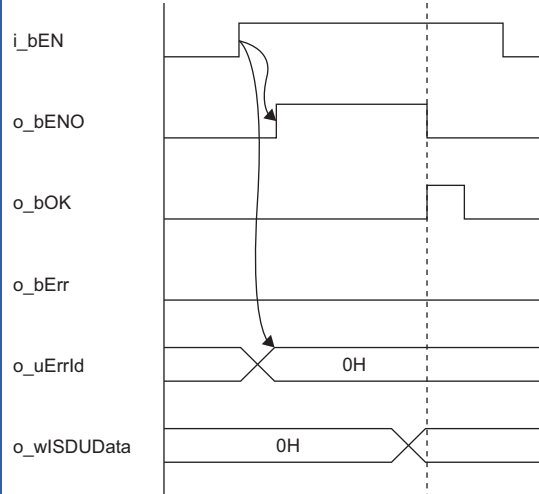
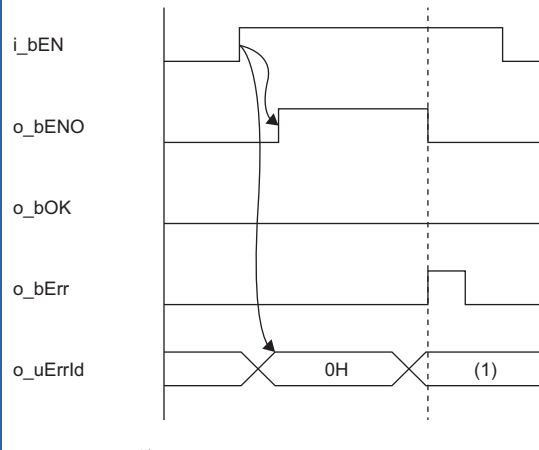
*2 ISDUデータ長に奇数を指定した場合、指定したデータ長に+1したバイト数のISDUデータを読み出します。

*3 接続しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。



■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(8)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(9)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(10)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(12)	o_wISDUData	ISDUデータ	ワード[符号付き]	読み出したISDUデータの値を格納します。 ISDUデータの値を格納するエリアの先頭デバイスを指定してください。ISDUデータが格納されるエリアのサイズは、読み出したISDUデータによります。データを格納するエリアのデバイスに他のデータを格納しないでください。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	481ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したチャンネルのISDUデータを読み出します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>・ 正常完了の場合</p>  <p>・ 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると, i_bEN(実行指令)がOFFされず, 正常な動作ができません。使用する場合は, i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)
E211H~E241H	ユニットエラーが発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  CC-Link IEフィールドネットワーク防水タイプリモートIO-Linkユニットユーザーズマニュアル

2.6 M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData_R

概要

項目	内容
機能概要	指定チャンネルのデータストレージを読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wTarget_CH</div><div>(5) — W: i_wSectionNo</div><div>(6) — W: i_wStrDataLen</div><div><div>o_bENO: B</div><div>o_bOK: B</div><div>o_bErr: B</div><div>o_uErrId: UW</div><div>o_wStorageData: W</div></div><div><div>(7)</div><div>(8)</div><div>(9)</div><div>(10)</div><div>(11)</div></div></div></div>

使用ラベル

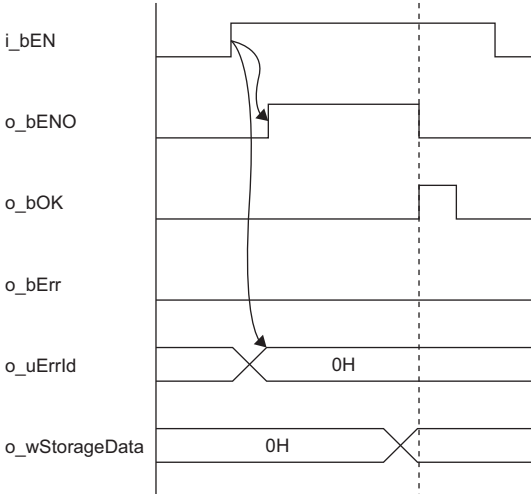
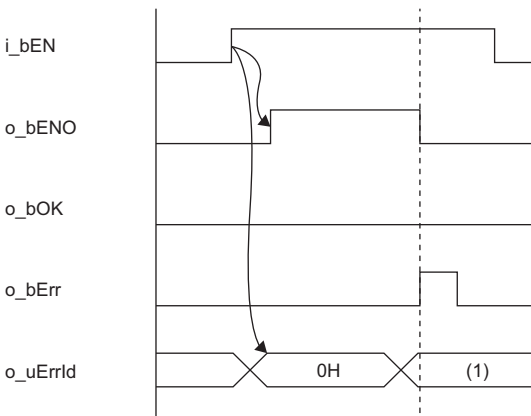
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wTarget_CH	対象チャンネル	ワード[符号付き]	1~8	イベントデータを読み出すチャンネルを指定します。0以下に設定されていればチャンネル1, 9以上に設定されていればチャンネル8となります。
(5)	i_wSectionNo	セクションNo.	ワード[符号付き]	0~2	読み出すデータストレージのセクションを指定します。0以下に設定されていればセクション0, 2以上に設定されていればセクション2となります。
(6)	i_wStrDataLen	ストレージデータ長	ワード[符号付き]	・セクション0, 1: 0001H~0156H ・セクション2: 0001H~0154H	読み出すデータストレージの長さ(ワード単位)を指定します。0以下に設定されていればデータ長が0001H, 0156H以上に設定されていればデータ長が0156Hとなります。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(7)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(8)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(10)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(11)	o_wStorageData	データストレージ	ワード[符号付き]	読み出したデータストレージを格納します。 データストレージの値を格納するエリアの先頭デバイスを指定してください。データストレージはデータストレージ長(i_wStrDataLen)で指定したワード数分のエリアに格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	362ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したチャンネルのデータストレージを読み出します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると, i_bEN(実行指令)がOFFされず, 正常な動作ができません。使用する場合は, i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 【】MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)

2.7 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet_R

2

概要

項目	内容
機能概要	各チャンネルにデータストレージ設定を書き込みます。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wDataStrSU</div><div>(5) — W: i_wDataStrUL</div><div>(6) — W: i_wDataStrDL</div><div>(7) — W: i_wDataStrClr</div><div><div>o_bENO: B</div><div>o_bOK: B</div><div>o_bErr: B</div><div>o_uErrId: UW</div></div><div><div>(8)</div><div>(9)</div><div>(10)</div><div>(11)</div></div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

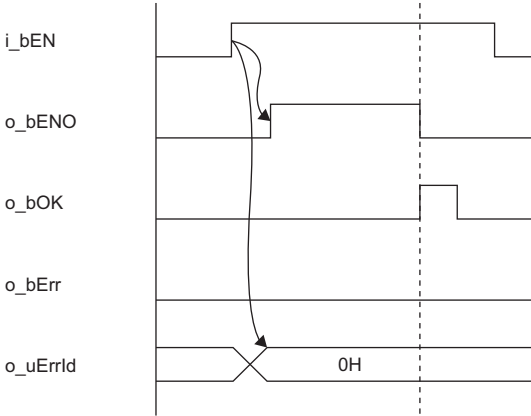
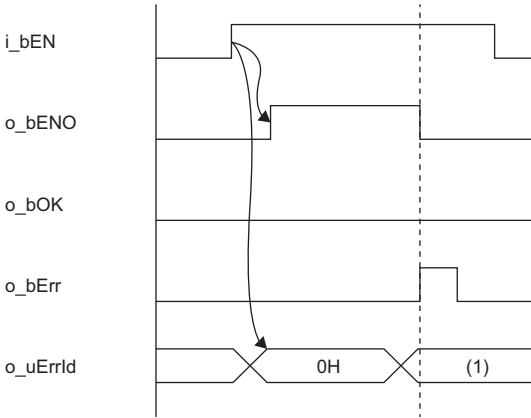
No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wDataStrSU	データストレージ有効設定	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位/バイトに各チャンネルのデータストレージの有効/無効を指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。*1 ☞ 45ページ データストレージ有効設定
(5)	i_wDataStrUL	アップロード設定	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位/バイトに各チャンネルのデータストレージのパラメータをIO-Linkデバイスのパラメータにアップロードするかを指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。*1 ☞ 45ページ アップロード設定
(6)	i_wDataStrDL	ダウンロード設定	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位/バイトにIO-Linkデバイスのパラメータから各チャンネルのデータストレージにパラメータをダウンロードするかを指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。*1 ☞ 45ページ ダウンロード設定
(7)	i_wDataStrClr	データストレージ消去設定	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位/バイトに各チャンネルのデータストレージのパラメータを消去するかを指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。*1 ☞ 45ページ データストレージ消去設定

*1 上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(8)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(9)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(10)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_uErrld	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	683ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、各チャンネルにデータストレージ設定を書き込みます。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると、i_bEN(実行指令)がOFFされず、正常な動作ができません。使用する場合は、i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。 • 本FB実行後、設定を反映させるために動作条件設定要求フラグをONする必要があります。設定を反映させるためのプログラムを別途作成してください。 • 動作条件設定要求フラグは、本FB実行完了から500ms経過後にONしてください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 【】MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)

2.8 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet_R

2

概要

項目	内容
機能概要	NZ2GF12A-60IOLH8にイニシャル動作設定を書き込みます。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtInitOprSet_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — B: i_bInitSetting</div><div>o_bENO: B (5)</div><div>o_bOK: B (6)</div><div>o_bErr: B (7)</div><div>o_uErrld: UW (8)</div></div></div>

使用ラベル

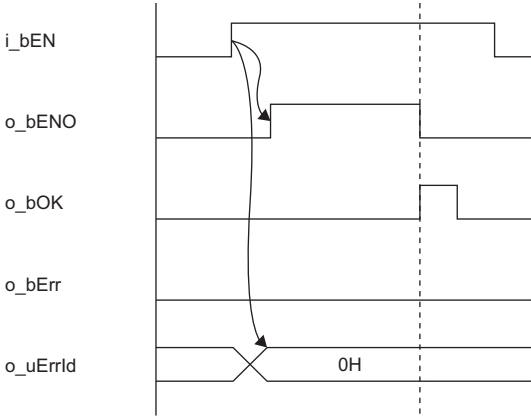
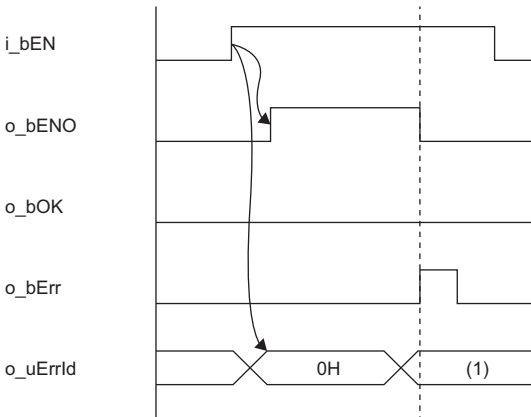
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_bInitSetting	イニシャル動作設定	ビット	OFF, ON	ON: イニシャル動作なし OFF: イニシャル動作あり

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_uErrld	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	336ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したIO-Linkユニットにイニシャル動作設定を書き込みます。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると、i_bEN(実行指令)がOFFされず、正常な動作ができません。使用する場合は、i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。 • 本FB実行後、設定を反映させるために動作条件設定要求フラグをONする必要があります。設定を反映させるためのプログラムを別途作成してください。 • 動作条件設定要求フラグは、本FB実行完了から500ms経過後にONしてください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 【】MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)

2.9 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData_R

概要

項目	内容
機能概要	指定チャンネルにISDUデータを書き込みます。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStationNo</div><div>(4) — W: i_wTarget_CH</div><div>(5) — W: i_wIndex</div><div>(6) — W: i_wSubIndex</div><div>(7) — W: i_wISDUDataLen</div><div>(8) — W: i_wISDUData</div></div><div><div>o_bENO: B — (9)</div><div>o_bOK: B — (10)</div><div>o_bErr: B — (11)</div><div>o_uErrId: UW — (12)</div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStationNo	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wTarget_CH	対象チャンネル	ワード[符号付き]	1~8	ISDUデータを読み出すチャンネルを指定します。0以下に設定されていればチャンネル1, 9以上に設定されていればチャンネル8となります。
(5)	i_wIndex	インデックス	ワード[符号付き]	0000H~FFFFH	書き込むISDUデータのインデックス値を指定します。 ^{*3}
(6)	i_wSubIndex	サブインデックス	ワード[符号付き]	00H~FFH	下位バイトに書き込むISDUデータのサブインデックス値を指定します。上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。 ^{*3}
(7)	i_wISDUDataLen	ISDUデータ長	ワード[符号付き]	書き込むISDUデータによる ^{*1}	書き込むISDUデータの長さ(バイト単位)を指定してください。0以下に設定されていればデータ長が0, 118以上に設定されていればデータ長が118となります。
(8)	i_wISDUData	ISDUデータ	ワード[符号付き]	書き込むISDUデータによる ^{*1}	ISDUデータに書き込む内容を指定してください。 ^{*2}

*1 詳細については、接続しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。

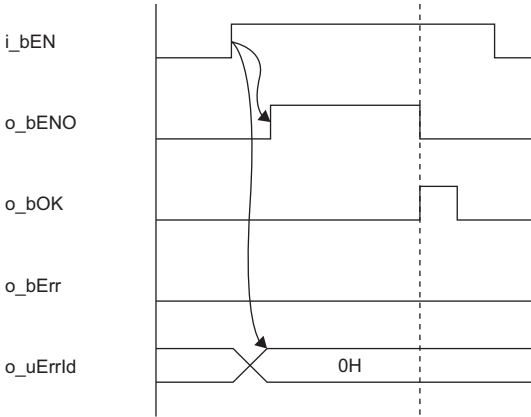
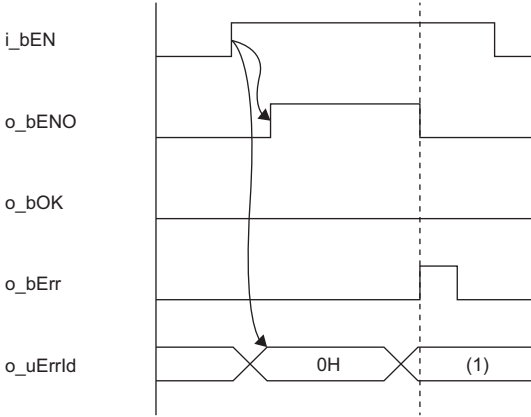
*2 ISDUデータ長に奇数を指定した場合、指定したデータ長に+1したバイト数のISDUデータを読み出します。

*3 接続しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(9)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(10)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(12)	o_uErrld	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	413ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したチャンネルにISDUデータを書き込みます。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると, i_bEN(実行指令)がOFFされず, 正常な動作ができません。使用する場合は, i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 ☞ MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)
E211H~E241H	ユニットエラーが発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 ☞ CC-Link IEフィールドネットワーク防水タイプリモートIO-Linkユニットユーザーズマニュアル

2.10 M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R

名称

M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R

概要

項目	内容
機能概要	指定チャンネルのデバイス検証設定を実施します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R</div><div><div>(1) — B: i_bEN</div><div>(2) — UW: i_uStart_IO_No</div><div>(3) — W: i_wStation_No</div><div>(4) — W: i_wTarget_CH</div><div>(5) — W: i_wValidConf</div><div>(6) — W: i_wVendorID</div><div>(7) — D: i_dDeviceID</div><div>(8) — D: i_d4SerialNo</div><div><div>o_bENO: B (9)</div><div>o_bOK: B (10)</div><div>o_bErr: B (11)</div><div>o_uErrId: UW (12)</div></div></div></div>

使用ラベル

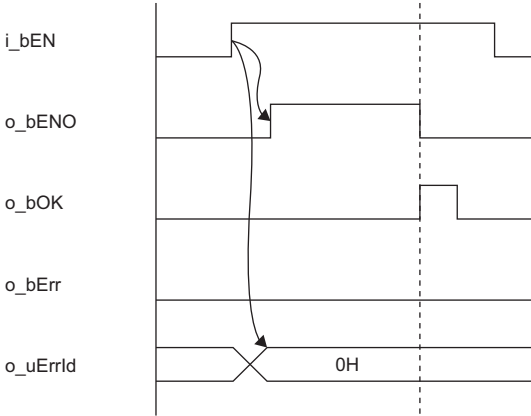
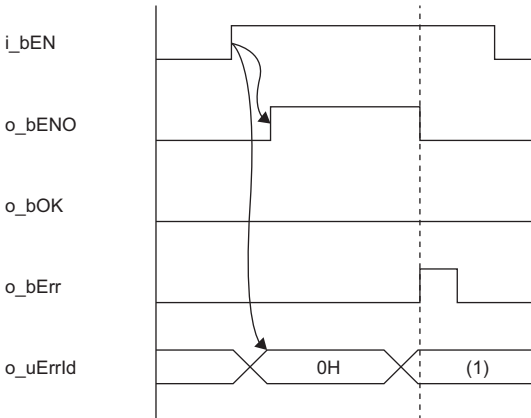
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	OFF, ON	ON: FBを起動する。 OFF: FBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_wStation_No	局番	ワード[符号付き]	1~120	対象のNZ2GF12A-60IOLH8の局番を指定します。
(4)	i_wTarget_CH	対象チャンネル	ワード[符号付き]	1~8	イベントデータを読み出すチャンネルを指定します。0以下に設定されていればチャンネル1, 9以上に設定されていればチャンネル8となります。
(5)	i_wValidConf	デバイス検証設定	ワード[符号付き]	00H~02H	デバイス検証を設定します。 00H: 無効 01H: 互換性検証 02H: 同一性検証 00H以下に設定されていればデバイス検証設定が00H, 02H以上に設定されていればデバイス検証設定が02Hとなります。
(6)	i_wVendorID	ベンダID	ワード[符号付き]	0000H~FFFFH	接続しているIO-Linkデバイスと比較するベンダIDを指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 📖 46ページ ベンダID
(7)	i_dDeviceID	デバイスID	ダブルワード[符号付き]	00000000H~00FFFFFH	接続しているIO-Linkデバイスと比較するデバイスIDを指定します。最上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 📖 46ページ デバイスID
(8)	i_d4SerialNo	シリアルナンバー	ダブルワード[符号付き](0..3)	—	接続しているIO-Linkデバイスと比較するシリアルナンバーを指定します。指定方法の詳細については、下記を参照してください。 📖 46ページ シリアルナンバー

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(9)	o_bENO	実行状態	ビット	FBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(10)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、FBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(12)	o_uErrld	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機種	対象ユニット	NZ2GF12A-60IOLH8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	359ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、指定したチャンネルのデバイス検証を設定します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	インタロックプログラムの作成が必要です。(マスタ局の)自局パトンパス状態(SB0047), 各局パトンパス状態(SW00A0~SW00A7), およびリモートREADY(RWr0.b11)でインタロックを行ってください。	
入出力信号の動き	<p>• 正常完了の場合</p>  <p>• 異常完了の場合</p>  <p>(1) エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 1回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラム, FOR~NEXT命令を使用したプログラムなど)で本FBを使用すると、i_bEN(実行指令)がOFFされず、正常な動作ができません。使用する場合は、i_bEN(実行指令)をOFFするプログラムを作成ください。 • 本FB実行後、設定を反映させるために動作条件設定要求フラグをONする必要があります。設定を反映させるためのプログラムを別途作成してください。 • 動作条件設定要求フラグは、本FB実行完了から500ms経過後にONしてください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度FBを実行してください。
D000H~DFFFFH	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 【】MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザズマニュアル(応用編)

付録

付1 入出力切替え指令

各チャンネルのQ/CQに対し，入力または出力を指定します。
各ビットに対応するチャンネルおよびQ/CQを示します。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
CH8 Q	CH8 CQ	CH7 Q	CH7 CQ	CH6 Q	CH6 CQ	CH5 Q	CH5 CQ	CH4 Q	CH4 CQ	CH3 Q	CH3 CQ	CH2 Q	CH2 CQ	CH1 Q	CH1 CQ

0: 入力, 1: 出力

付2 モード切替え指令

各チャンネルのモードを指定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: SIOモード, 1: IO-Linkモード

付

付3 イベント削除設定

各チャンネルで発生したイベントを消去するかを指定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: 全イベントを消去しない, 1: 全イベントを消去する

付4 上下バイトデータ交換設定

各チャンネルの上下バイトデータ交換を設定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: 上下バイトデータ交換無効, 1: 上下バイトデータ交換有効

付

付5 プロセスデータサイズ設定

連続する8ワード分のデバイスに各チャンネルに設定するプロセスデータサイズを指定します。
各チャンネルに対応するプロセスデータサイズを指定してください。
他のデータを格納しないでください。

デバイス	プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+0	CH1 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+1	CH2 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+2	CH3 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+3	CH4 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+4	CH5 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+5	CH6 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+6	CH7 プロセスデータサイズ
(先頭デバイス)+7	CH8 プロセスデータサイズ

付6 データストレージ設定

データストレージ有効設定

各チャンネルのデータストレージ有効/無効を指定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: データストレージ無効, 1: データストレージ有効

アップロード設定

各チャンネルのデータストレージアップロードを設定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: アップロード無効, 1: アップロード有効

ダウンロード設定

各チャンネルのデータストレージダウンロードを設定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: ダウンロード無効, 1: ダウンロード有効

データストレージ消去設定

各チャンネルのデータストレージのパラメータを消去するかを指定します。
各ビットに対応するチャンネルを示します。
上位バイトのデータは無視されます。0を格納してください。

b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
未使用								CH8	CH7	CH6	CH5	CH4	CH3	CH2	CH1

0: パラメータ消去しない, 1: パラメータ消去する

付7 デバイス検証設定

ベンダID

デバイス検証で設定するベンダIDを指定します。
各ビットに対応するベンダIDを指定してください。

b15~b8	b7~b0
ベンダID(上位)	ベンダID(下位)

デバイスID

デバイス検証で設定するデバイスIDを指定します。
各ビットに対応するデバイスIDを指定してください。

b32~b16	b15~b0
デバイスID(上位)	デバイスID(下位)

シリアルナンバー

デバイス検証で設定するシリアルナンバーを指定します。
各ビットに対応するシリアルナンバーを指定してください。

デバイス	b31~b24	b23~b16	b15~b8	b7~b0
(先頭デバイス)+0	シリアルナンバー 4	シリアルナンバー 3	シリアルナンバー 2	シリアルナンバー 1
(先頭デバイス)+1	シリアルナンバー 8	シリアルナンバー 7	シリアルナンバー 6	シリアルナンバー 5
(先頭デバイス)+2	シリアルナンバー 12	シリアルナンバー 11	シリアルナンバー 10	シリアルナンバー 9
(先頭デバイス)+3	シリアルナンバー 16	シリアルナンバー 15	シリアルナンバー 14	シリアルナンバー 13

付8 RJ71EN71, RnENCPUをE+CCIEFに設定した場合のFB 変更手順

RJ71EN71, RnENCPUで“ポート1ネットワーク種別”を“Ethernet”, “ポート2ネットワーク種別”を“CC-Link IE Field”に設定した場合、CC-Link IE Field部のバッファメモリアドレスが元のアドレスに2000000加算された状態になります。
このため、ネットワークユニットをE+CCIEFに設定して本リファレンス内のFBを使用する場合は、バッファメモリアドレスを参照させている箇所に2000000加算したFBの作成が必要です。

Point

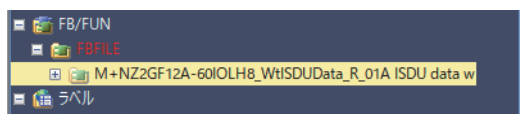
本手順は、バージョン1.01以降のFBライブラリを使用した場合の手順です。

操作手順

1. 部品選択ウィンドウの[ライブラリ]タブから、変更するFBを選択します。

変更するFBを選択すると、FB/FUNに選択したFBが追加されます。

部品選択ウィンドウ⇒[ライブラリ]タブ⇒変更するFB⇒右クリック⇒[プロジェクトに追加]⇒[FBファイル作成]



2. 変更するFBをコピーします。

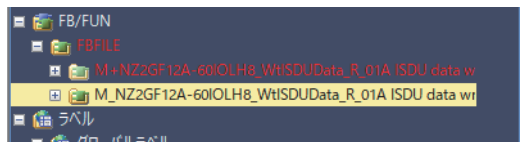
[ナビゲーションウィンドウ]⇒[FB/FUN]⇒[FBFILE]⇒変更するFB⇒右クリック⇒[データコピー]

3. コピーしたFBを貼り付けます。

FBを貼り付けると、FB/FUNにコピーしたFBが追加されます。

- コピー元のFB名: M+□□□□
- コピーのFB名: M_□□□□

[ナビゲーションウィンドウ]⇒[FB/FUN]⇒[FBFILE]⇒右クリック⇒[データ貼り付け]

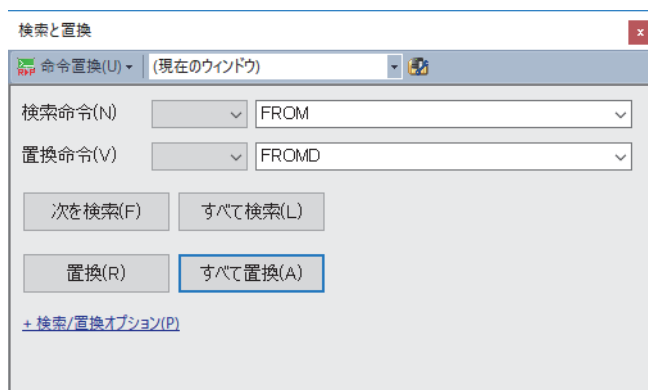


4. コピーしたFBのプログラムを開きます。

[ナビゲーションウィンドウ]⇒[FB/FUN]⇒[FBFILE]⇒コピーしたFB⇒[プログラム本体]

5. 命令置換を起動し、検索命令にFROMを、置換命令にFROMDを入力します。

[検索/置換]⇒[命令置換]



Point

命令置換を“(現在のウインドウ)”にしてください。指定することで、変更するFBのプログラムのみ置換できます。

6. [すべて置換]ボタンをクリックします。
7. メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。
8. 文字列置換を起動し、検索文字列と置換文字列に下記の文字列を入力します。

🔍 [検索/置換]⇒[文字列置換]

検索と置換

文字列置換(H) (現在のウィンドウ)

検索文字列(N) H4804

置換文字列(V) H1ECC84

次を検索(F) すべて検索(L)

置換(R) **すべて置換(A)**

+ 検索/置換オプション(P)

検索文字列	置換文字列
H4804	H1ECC84
H48C0Z6	H1ECD40Z6
H4F00Z7	H1ED380Z7

Point

文字列置換を"(現在のウィンドウ)"にしてください。指定することで、変更するFBのプログラムのみ置換できます。

9. [すべて置換]ボタンをクリックします。
10. メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。
11. コピーしたFBのローカルラベルを開きます。

🔍 [ナビゲーションウィンドウ]⇒[FB/FUN]⇒[FBFILE]⇒コピーしたFB⇒[ローカルラベル]

12. 下記のローカルラベルを修正します。

ラベル名	データ型	
	修正前	修正後
wRWrOffsetTmp	ワード[符号付き]	ダブルワード[符号付き]

13. 下記のローカルラベルを追加します。

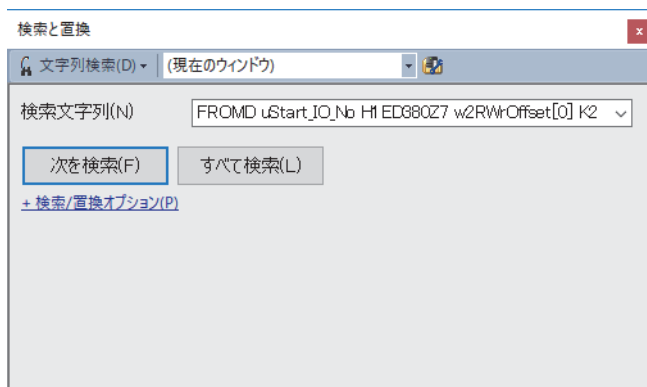
ラベル名	データ型	クラス
dRWrOffsetStart	ダブルワード[符号付き]	VAR

14. コピーしたFBのプログラムを開きます。

🔍 [ナビゲーションウィンドウ]⇒[FB/FUN]⇒[FBFILE]⇒コピーしたFB⇒[プログラム本体]

15. 文字列検索を起動し、下記の文字列を検索します。

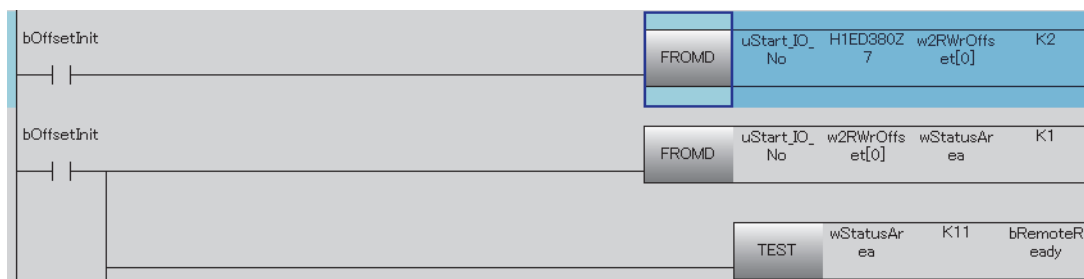
[検索/置換]⇒[文字列検索]



Point

文字列検索を"(現在のウィンドウ)"にしてください。指定することで、変更するFBのプログラムのみ検索できます。

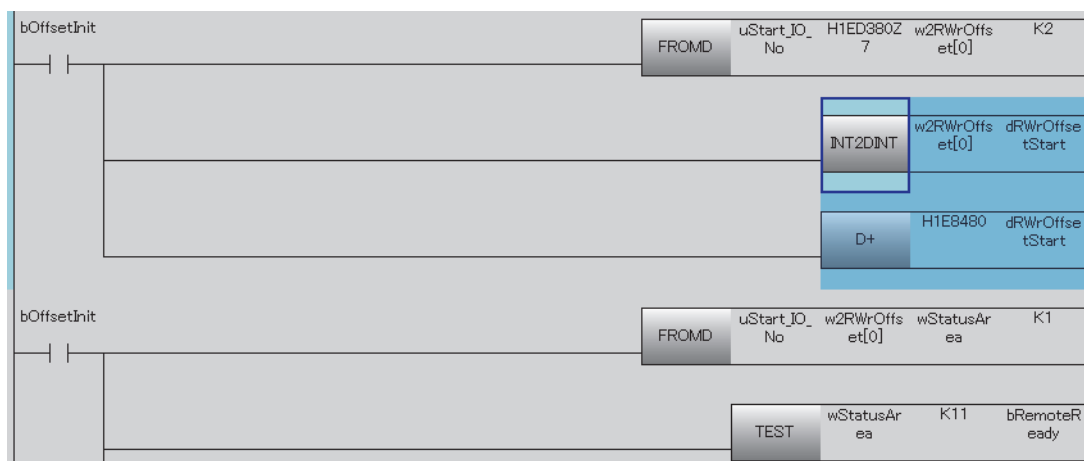
16. [次を検索]ボタンをクリックすると、該当箇所にジャンプします。



17. 該当箇所の直後に2行挿入します。

[編集]⇒[行挿入]

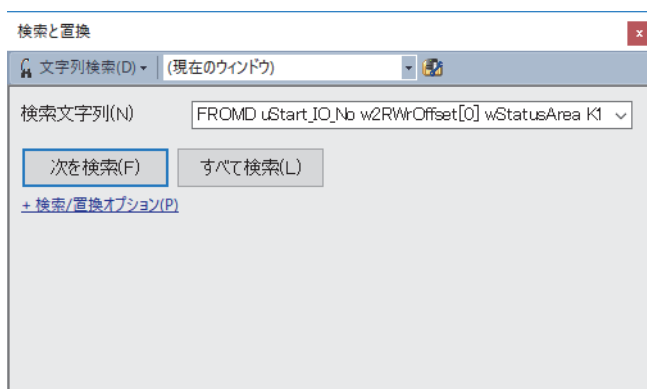
18. 挿入した行に、下記の文字列を追記します。



付

19. 文字列検索を起動し、下記の文字列を検索します。

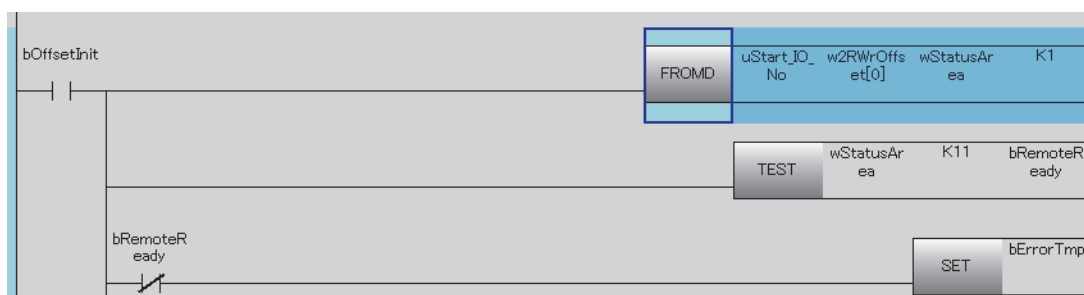
🔍 [検索/置換]⇒[文字列検索]



Point

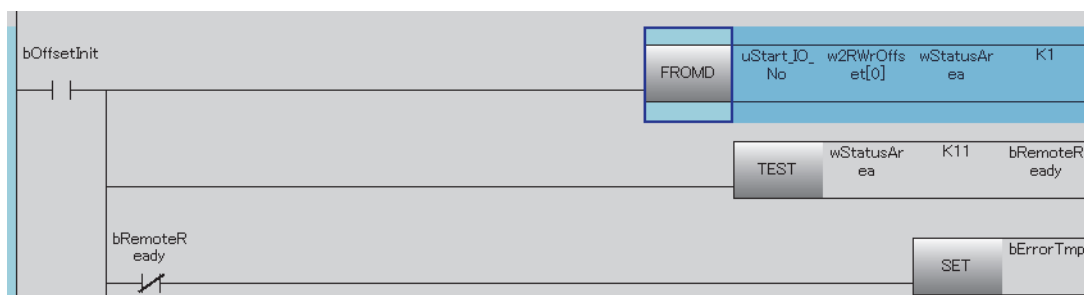
文字列検索を"(現在のウィンドウ)"にしてください。指定することで、変更するFBのプログラムのみ検索できます。

20. [次を検索]ボタンをクリックすると、該当箇所にジャンプします。

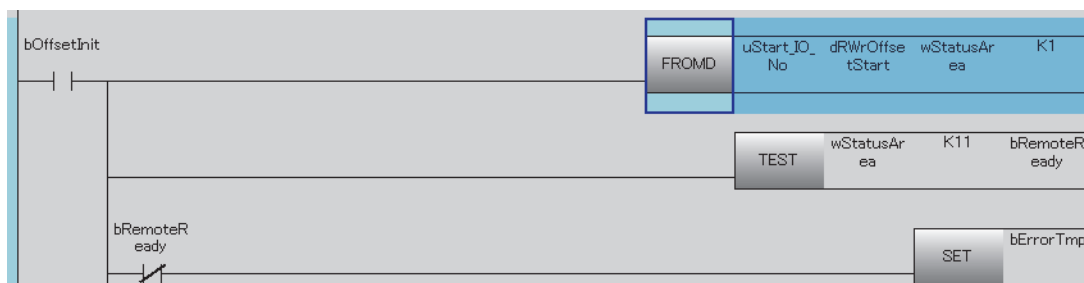


21. 検索した文字列を、下記のように修正します。

• 修正前



• 修正後



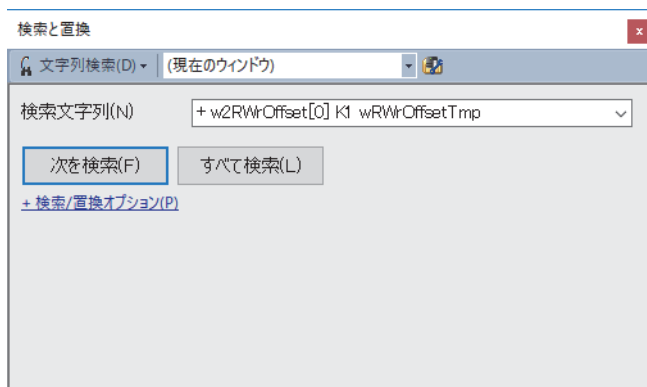
Point

下記のFBは、同様の文字列が2箇所存在します。2箇所とも修正してください。

- M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUDData_R
- M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUDData_R

22. 文字列検索を起動し、下記の文字列を検索します。

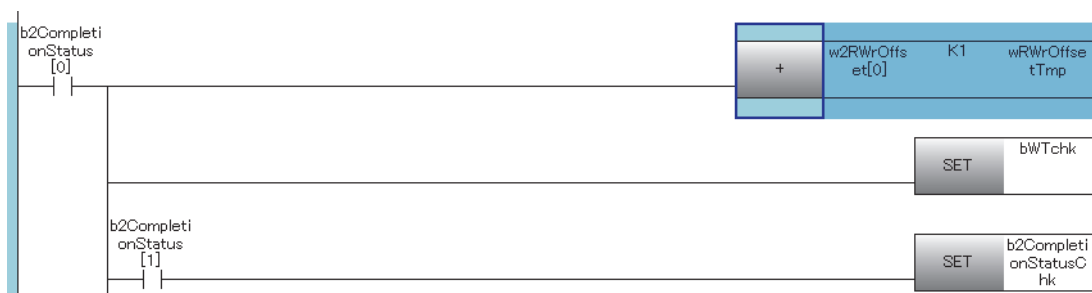
🔍 [検索/置換]⇒[文字列検索]



Point

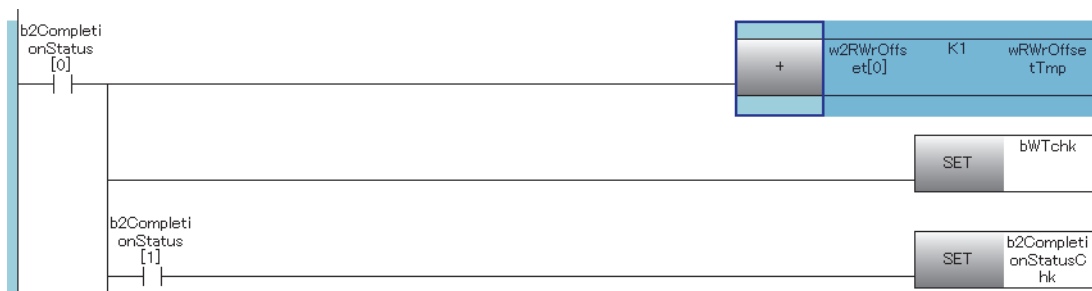
文字列検索を"(現在のウィンドウ)"にしてください。指定することで、変更するFBのプログラムのみ検索できます。

23. [次を検索]ボタンをクリックすると、該当箇所にはジャンプします。

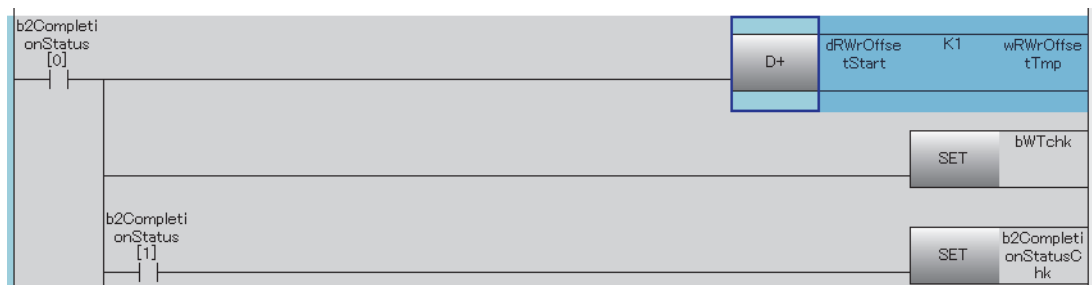


24. 検索した文字列を、下記のように修正します。

• 修正前



• 修正後



付

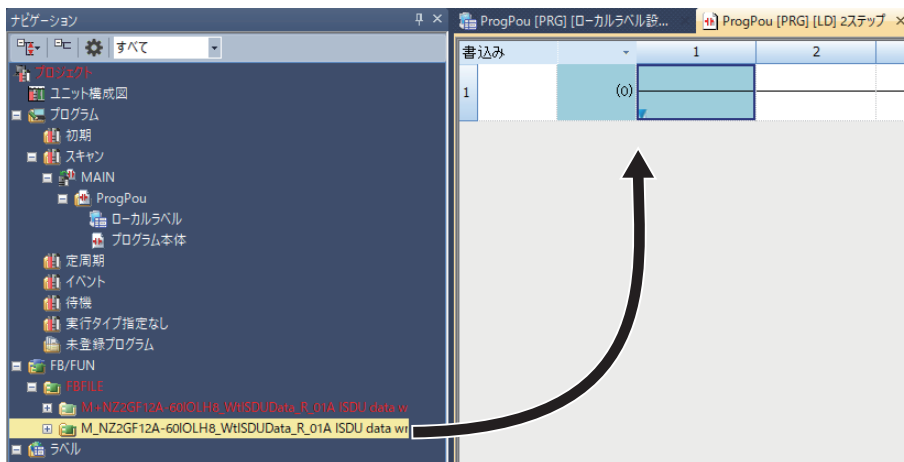
下記のFBは、同様の箇所が存在しないため手順23~手順24は不要です。

- M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R
- M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R
- M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdIdtData_R
- M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R

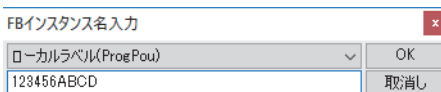
25. プログラムを閉じます。

26. 修正したFBをドラッグ&ドロップして貼り付けます。

☞ [ナビゲーションウィンドウ]⇒[プログラム]⇒[スキャン]⇒[MAIN]⇒[ProgPou]⇒[プログラム本体]



27. FBインスタンス名に任意の名称を入力します。



28. 全変換を実行します。

☞ [変換]⇒[全変換]

29. FBに応じて入出力ラベルにデバイスを割り当てて使用してください。

M

M+NZ2GF12A-60IOLH8_CCIEFIOAdv_R	4
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdEventData_R	8
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdldtData_R	11
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdlnitOprSet_R	14
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdISDUData R	18
M+NZ2GF12A-60IOLH8_RdStrData_R	22
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDataStrSet_R	25
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtDeviceValid_R	36
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtlnitOprSet_R	29
M+NZ2GF12A-60IOLH8_WtISDUData_R	32

MEMO

改訂履歴

*取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	*取扱説明書番号	改訂内容
2018年4月	BCN-P5999-0964-A	初版
2020年3月	BCN-P5999-0964-B	■追加・修正箇所 1章, 2.1節~2.8節, 付1~4, 付6~8

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

©2018 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

商標

IO-Linkは、PROFIBUS Nutzerorganisation e.V.の登録商標または商標です。

本文中における会社名、システム名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。

本文中で、商標記号(™, ®)は明記していない場合があります。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。

●電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種		電話番号		
自動窓口案内		052-712-2444		
エッジコンピューティング製品	産業用PC MELIPC	052-712-2370※2		
	Edgecross対応ソフトウェア (MTConnectデータコレクタを除く)			
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnSシーケンサ(CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-711-5111		
	MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271※3		
	ネットワークユニット(CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-712-2578		
	MELSOFTシーケンサエンジニアリングソフトウェア	MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)	052-711-0037	
	MELSOFT統合エンジニアリング環境	MELSOFT Navigator	052-799-3591※2	
	iQ Sensor Solution			
	MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370※2	
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
	C言語コントローラ			
	MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット		052-799-3592※2	
		MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセスCPU/二重化機能 SIL2プロセスCPU (MELSEC iQ-Rシリーズ) プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ) MELSOFT PXシリーズ	052-712-2830※2※3
		MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ) 安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット		QEシリーズ/REシリーズ	052-719-4557※2※3	
FAセンサ MELSENSOR		レーザ変位センサ ビジョンセンサ コードリダ	052-799-9495※2	
表示器 GOT	GOT2000/1000シリーズ MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417		
SCADA MC Works64		052-712-2962※2※6		
サーボ/位置決めユニット/モーションユニット/ シンプルモーションユニット/モーションコントローラ/ センシングユニット/組込み型サーボシステムコントローラ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607		
	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/AnSシリーズ)			
	モーションユニット (MELSEC iQ-Rシリーズ)			
	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)			
	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/AnSシリーズ)			
	センシングユニット (MR-MTシリーズ)			
センサレスサーボ	シンプルモーションボード/ポジションボード	052-722-2182		
	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ		052-722-2182	
	FR-E700EX/MM-GKR		0536-25-0900※2※4	
	FREQROLシリーズ		052-721-0100	
インバータ	三相モータ225フレーム以下	052-712-5430※5		
三相モータ	MELFAシリーズ	052-712-5440※5		
産業用ロボット		052-719-4559		
電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ				
データ収集アナライザ	MELQIC IU1/IU2シリーズ	052-719-4556		
低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-712-5440※5		
	US-Nシリーズ	052-719-4170		
低圧遮断器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559		
電力管理用計器	電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556		
省エネ支援機器	EcoServer/E-Energy/検計システム/エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557※2※3		
小容量UPS (5kVA以下)	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※2※6		

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。

※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：土曜・日曜・祝日を除く ※3：金曜は17:00まで ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30

※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) ※6：月曜～金曜の9:00～17:00

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QEシリーズ/REシリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。

※7：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー
登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

BCN-P5999-0964-B(2003)

2020年3月作成

本マニュアルは、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。